

第5次生駒市総合計画 進行管理検証シート

343地域美化・環境衛生

まちづくりの目標	3	環境にやさしく、自然と都市機能が調和した、住みやすいまち
施策の大綱	4	生活環境の整備
基本施策	3	地域美化・環境衛生
4年後のまち	①	環境美化の取組が進み、より一層きれいなまちになっている。

1 市民実感度

【市民満足度調査 平成27年6月実施】

設問①	環境美化の取組が進み、より一層きれいなまちになっている。			
回答	件数	比率	得点評価	
そう思う	52	10.6%	11.4%	11.4
どちらかというと思う	206	42.1%	45.3%	34.0
どちらとも言えない	146	29.9%	32.1%	16.0
どちらかというと思わない	33	6.7%	7.3%	1.8
そう思わない	18	3.7%	4.0%	0.0
わからない	25	5.1%		
無回答	9	1.8%		
総数	489	100.0%		
有効回答数	455		100.0%	63.2
全設問の平均				63.2

2 指標

No.	指標名	この指標について	指標の動向	目指す値	実績値																					
1	不法投棄の回収件数(件)	不法投棄防止パトロールにて回収した廃棄物の件数。 市民や事業者に対する啓発とともに、不法投棄防止パトロールの推進により、平成25年度には集積所への不法投棄をなくし、平成30年度には道路上への不法投棄の回収件数の半減を目指します。	<table border="1"> <tr><th>年度</th><td>H21</td><td>H22</td><td>H23</td><td>H24</td><td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td></tr> <tr><th>回収件数</th><td>301</td><td>371</td><td>358</td><td>299</td><td>256</td><td>291</td><td>251</td><td>228</td><td>204</td><td>181</td></tr> </table>	年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	回収件数	301	371	358	299	256	291	251	228	204	181	目指す値 H26 251	実績値 H26 291
年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29																	
回収件数	301	371	358	299	256	291	251	228	204	181																
担当課	環境事業課			指標の把握方法(数値の出所) 不法投棄防止パトロール実績報告																						
		目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無: ■有 □無> 平成27年度から家庭ごみ有料化が始まることにより、市民のごみに対する関心が高まり、不法投棄の通報が増え、通報があったものをパトロールに合わせて回収したため。																							
2	空き地等適正管理指導件数(件)	生駒市まちをきれいにする条例に基づき、空き地等の土地所有者に対し適正に管理するよう指導した件数で、「適正管理されていない空き地件数」の代替指標として設定。 空き地等の実態調査を通じ、雑草等が繁殖して生活環境を阻害している宅地を減らし、地域環境の美化向上を図ります。	<table border="1"> <tr><th>年度</th><td>H21</td><td>H22</td><td>H23</td><td>H24</td><td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td></tr> <tr><th>指導件数</th><td>54</td><td>66</td><td>94</td><td>103</td><td>86</td><td>87</td><td>80</td><td>70</td><td>60</td><td>50</td></tr> </table>	年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	指導件数	54	66	94	103	86	87	80	70	60	50	目指す値 H26 80	実績値 H26 87
年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29																	
指導件数	54	66	94	103	86	87	80	70	60	50																
担当課	環境モデル都市推進課			空き地調査報告																						
		目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無: □有 □無> 空き地等の指導件数合計は前年(86件)並であったが、新規の空き地案件が同じ水準で発生したため減少に至らなかった。																							

第5次生駒市総合計画 進行管理検証シート

343地域美化・環境衛生

3 市民の役割分担（市民1人でできること）【市民満足度調査 平成27年6月実施】

①1	ごみのポイ捨てや不法投棄をしていない。			
回答	件数	比率	得点評価	
十分取り組んでいる	321	65.6%	67.6%	67.6
取り組んでいる	103	21.1%	21.7%	16.3
少し取り組んでいる	35	7.2%	7.4%	3.7
あまり取り組んでいない	12	2.5%	2.5%	0.6
全く取り組んでいない	4	0.8%	0.8%	0.0
無回答	14	2.9%		
総数	489	100.0%		
有効回答数	475		100.0%	88.2

4 行政の4年間の主な取組

取組No.	行政の4年間の主な取組	具体的な事業	取組状況	進捗上の課題（ある場合のみ）	担当課
①1	不法投棄禁止の啓発を行います。	ごみガイドブックによる啓発	平成26年度に新たにごみガイドブックは作成していないが、既に作成したものを随時配付するとともに、市外からの転入者には転入手続きの際に配付した。	家庭ごみ有料化に伴って不法投棄が増えないように啓発を強化する必要がある。	環境事業課
		ホームページでの啓発	ホームページには継続して掲載し啓発を行った。	家庭ごみ有料化に伴って不法投棄が増えないように啓発を強化する必要がある。	環境事業課
①2	地域ぐるみで、生駒市まちをきれいにする条例に定められた事項を遵守するよう、環境美化推進員や地域の清掃活動等の環境美化活動を支援します。	地域の環境美化活動への支援	6月の環境月間等に自治会内での道路、水路、公園等の清掃活動を実施された自治会にごみ袋の配布や回収を行うなどの支援を行った。 26年度自治会清掃回収217件		環境モデル都市推進課
①3	ペットの飼い方のルールやマナーなどについての啓発・情報提供を行い、わんわんアドバイザーや地域ねこ活動サポーターなどの動物愛護推進者を育成して、ペット公害の防止を図ります。	ペットに関するルールやマナーの啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・わんわんアドバイザーの養成・活動によるペット飼育のルール・マナーの啓発。わんわんアドバイザー新規3名に養成講座を実施 ・地域猫制度の啓発を広報いこまち平成26年9/15号・12/15号で実施 ・避妊去勢手術補助 20件（オス25頭・メス32頭） 		環境モデル都市推進課
①4	不法投棄防止パトロールによる監視体制の強化や、不法投棄された廃棄物の撤去を実施します。	不法投棄廃棄物の撤去	週1回の啓発を行うとともに通報のあった不法投棄物の回収を行った。 回収量 平成25年度比14%増 不法投棄の回収件数 291件	不法投棄監視カメラを設置するにあたって、より効果的な設置場所を検討する。	環境事業課
①5	生駒市まちをきれいにする条例に基づき、環境美化に関する市民等のモラルの向上と美化思想の普及を図ります。	まちをきれいにする条例の適正な運用	<ul style="list-style-type: none"> ・まちをきれいにする条例の啓発推進 ・環境美化推進員293名（前年度比22名増） ・市内9駅でクリーンアップ作戦等を実施 ・ポイ捨てごみ調査を実施：罰則創設前（H24）に比べ約31%減 ・空き地等の適正管理指導件数87件 	まちをきれいにする条例によりポイ捨てごみの削減に一定の効果は出ているが、事業者等を巻き込んだ取組や更なる啓発が必要である。	環境モデル都市推進課
①6	市営火葬場の適正な運営と維持管理を行います。	市営火葬場の運営・維持管理	定期的に点検や修理を行い、常に最良状態で使用できるように努めた。		環境モデル都市推進課

5 分野全体の進捗状況

各項目の進捗度		分野の進捗度 (行政)	進捗度の理由
市民実感度	63.2	C	市民実感度が比較的高く市民の身近な環境への意識が年々向上しているため、一部のマナー違反が際立つ結果になっていると思われる。ごみの不法投棄や空き地の不適正管理は、社会経済情勢等の影響によることも多いと思われるが、きれいなまちを実現するためには、効果的な啓発を継続して実施することが重要であることから、不法投棄防止パトロールの監視強化のほか、市民や事業者とともに地道な取組を続けていきたい。
指標	いずれの指標も目標値に達していない		
市民の役割分担	88.2		
行政の4年間の主な取組	概ね計画通り順調に進捗している		

[進捗度の基準] A:4年後のまちが十分に実現されている B:4年後のまちが概ね実現されている C:4年後のまちがそこそこ実現されている
D:4年後のまちはあまり実現されていない E:4年後のまちは全く実現されていない

6 総合計画審議会の意見

行政で検証した進捗度 についての意見		前年度	B
行政で検証した進捗度 を変更する場合の理由		進捗度 (審議会)	

第5次生駒市総合計画 進行管理検証シート

344上水道

まちづくりの目標	3	環境にやさしく、自然と都市機能が調和した、住みやすいまち
施策の大綱	4	生活環境の整備
基本施策	4	上水道
4年後のまち	①	安全で安心できる水道水を安定して供給している。
	②	健全で効率的な事業経営を継続している。

1 市民実感度

【市民満足度調査 平成27年6月実施】

設問① 安全で安心できる水道水を安定して供給している。					設問② 上水道について健全で効率的な事業経営を継続している。				
回答	件数	比率	得点評価		回答	件数	比率	得点評価	
そう思う	149	29.7%	32.3%	32.3	そう思う	43	8.4%	10.0%	10.0
どちらかというと思う	225	44.9%	48.8%	36.6	どちらかというと思う	180	35.2%	42.1%	31.5
どちらとも言えない	71	14.2%	15.4%	7.7	どちらとも言えない	134	26.2%	31.3%	15.7
どちらかというと思わない	12	2.4%	2.6%	0.7	どちらかというと思わない	39	7.6%	9.1%	2.3
そう思わない	4	0.8%	0.9%	0.0	そう思わない	32	6.3%	7.5%	0.0
わからない	24	4.8%			わからない	59	11.5%		
無回答	16	3.2%			無回答	25	4.9%		
総数	501	100.0%			総数	512	#####		
有効回答数	461		100.0%	77.3	有効回答数	428		#####	59.5
全設問の平均									68.4

2 指標

No.	指標名	この指標について	指標の動向							
1	1人1日平均配水量(リットル)	市民1人当りに換算した1日平均配水量。 市民や事業者が、日頃から節水や水の有効利用を心がけることにより、無駄な水使用の減少を目指します。		<table border="1"> <tr><th>目指す値</th><th>実績値</th></tr> <tr><td>H26</td><td>H26</td></tr> <tr><td>284</td><td>278</td></tr> </table>	目指す値	実績値	H26	H26	284	278
				目指す値	実績値					
				H26	H26					
284	278									
担当課 総務課(水道)	指標の把握方法(数値の出所) 1人1日平均配水量は、H26年度末の1日平均配水量を給水人口で除く。 ※1日平均配水量:33,588m ³ 、給水人口:120,896人									
目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由 <外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>										
2	水道の有効率(%)	年間総取水量に対する年間総有効水量(年間総配水量-漏水等により失われる水量)の割合。 計画的な施設の更新や漏水防止対策を実施し、今後も高率の維持に努めます。		<table border="1"> <tr><th>目指す値</th><th>実績値</th></tr> <tr><td>H26</td><td>H26</td></tr> <tr><td>98.0</td><td>98.9</td></tr> </table>	目指す値	実績値	H26	H26	98.0	98.9
				目指す値	実績値					
				H26	H26					
98.0	98.9									
担当課 工務課	指標の把握方法(数値の出所) 配水量分析表(上下水道部作成)による。									
目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由 <外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>										
3	自己水割合(%)	年間総取水量に占める自己水(井戸取水)量の割合。 良質、安価で渇水時においても安定的に利用できる地下水は、本市にとって重要な水源です。水位低下なく安定的に揚水できる量(適正な揚水量)を見極め、自己水の確保に努めます。		<table border="1"> <tr><th>目指す値</th><th>実績値</th></tr> <tr><td>H26</td><td>H26</td></tr> <tr><td>38</td><td>39.7</td></tr> </table>	目指す値	実績値	H26	H26	38	39.7
				目指す値	実績値					
				H26	H26					
38	39.7									
担当課 浄水場	指標の把握方法(数値の出所) 平成26年度取水量・送水量・配水量及び給水人口の状況(上下水道部作成)による。									
目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由 <外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>										

第5次生駒市総合計画 進行管理検証シート

344上水道

3 市民の役割分担（市民1人でできること）【市民満足度調査 平成27年6月実施】

①1	水の大切さを理解し、日頃から節水や水の有効利用を心がけている。			
回答	件数	比率	得点評価	
十分取り組んでいる	149	29.7%	31.5%	31.5
取り組んでいる	176	35.1%	37.2%	27.9
少し取り組んでいる	117	23.4%	24.7%	12.4
あまり取り組んでいない	24	4.8%	5.1%	1.3
全く取り組んでいない	7	1.4%	1.5%	0.0
無回答	28	5.6%		
総数	501	100.0%		
有効回答数	473		100.0%	73.0

4 行政の4年間の主な取組

取組No.	行政の4年間の主な取組	具体的な事業	取組状況	進捗上の課題（ある場合のみ）	担当課
①1	水の大切さを理解し、節水や水の有効利用を心がけてもらえるよう広報・啓発活動を行います。	生水だよりによる啓発	○「生水だより」を2回発行した。 ・平成26年度は広報7月1日号、1月合併号とも2ページ仕様で水の有効利用を呼び掛けた。 ○ホームページの節水啓発ページに具体的な数値を入れるなど工夫した。 ○市民一人一日当たりの配水量 278ℓ		総務課 (水道)
①2	給水装置、貯水槽水道や専用水道の適正な管理を行ってもらえるよう指導、助言等を行います。	生水だよりによる啓発	○平成27年1月号で給水装置の管理(水道管の凍結対策)を掲載した。 ○貯水槽設置者に水質安全確保の通知文書を発送した。		工務課
①3	直結給水の範囲を拡大します。	直結直圧給水の推進	○直結増圧給水方式を見直しするとともに、直結直圧給水の基準を拡大。 ・給水装置工事施行基準を改正。 ・平成27年4月1日施行。		工務課
①4	拠点施設や管路の耐震化を行います。	ライフライン機能強化事業	○管路の更新延長4.76kmを耐震管で布設替えを完了した。		工務課
①4	拠点施設や管路の耐震化を行います。	滝寺送水ルート変更事業	○浄水場施工の滝寺中継所建設工事に管路の耐震化を含めて発注した。 平成27年3月末までに、滝寺中継所建設工事の工事請負契約を締結し、準備工事に着手した。 ○平成27年3月9日契約締結		工務課 浄水場
①5	水質向上のため、浄水施設の改良を行います。	真弓浄水場薬品注入設備改良工事	平成26年度取組なし。		浄水場
①6	安定した水道水の供給が行えるよう、自己水(井戸取水)の適正揚水量を維持します。	取水井戸浚渫工事	適正揚水量を確保し、効率的な井戸の浚渫工事などを実施した。 ○9井の浚渫工事を実施。 ○自己水割合 39.5%		浄水場
②1	経費の節減に取り組むとともに、収入確保などにつながる取組として、水飲み場や給水スポットなどの整備により水道水の利用を促進します。	生駒の水PR事業	○公共施設への給水機の設置や自治会などのイベントへの給水機の貸し出し。H26年度貸し出し実績のべ31台 ○平成26年5月 市内の公共施設2箇所に給水機を設置。 ・鹿ノ台ふれあいホール ・高山竹林園 ○給水スポット事業は事業者のみなさんのご協力を得て行う給水地点拡充事業で、H26年度末までに6店舗の協力を得た。		総務課 (水道)

第5次生駒市総合計画 進行管理検証シート

344上水道

②2	水の有効利用等のため、漏水調査の強化や老朽管の更新を行います。	漏水調査の強化	平成27年3月までに、漏水多発地域を限定し、職員2班体制で ・昭和の埋設管を6回実施。 ・(埋設後10年を経過した平成の埋設管)を1回実施した。 ・水道配水量の有効率98.9%		工務課
②3	水道施設整備計画の円滑かつ確実な実施を図ります。	真弓浄水場電気設備改良工事	平成27年3月までに、真弓浄水場電気設備等改良工事の工事請負契約を締結し、準備工事に着手した。 ○平成26年11月26日契約締結		浄水場
②3	水道施設整備計画の円滑かつ確実な実施を図ります。	滝寺送水ルート変更事業	○浄水場施工の滝寺中継所建設工事に管路の耐震化を含めて発注した。		工務課
			平成27年3月末までに、滝寺中継所建設工事の工事請負契約を締結し、準備工事に着手した。 ○平成27年3月9日契約締結		浄水場
②3	水道施設整備計画の円滑かつ確実な実施を図ります。	稲倉送水ルート変更事業	○施工時期と国庫補助採択に向け検討をした。		工務課
			平成26年度取組なし。		浄水場
②4	水道システムを効率的なものに再編成し、省電力化を図ります。	小瀬送水ルート変更事業	県と市の施工工事の分担について双方合意した。		総務課(水道)
			○既設管への接続方法について、県営水道と協議をした。		工務課
			平成26年度取組なし。		浄水場
②5	再生可能エネルギーの活用を行います。	山崎浄水場小水力発電施設運用	山崎浄水場小水力発電施設を適正に管理し、発電能力(40kwh)を保った。 ○年間発電量:364,239kwh		浄水場

5 分野全体の進捗状況

各項目の進捗度		分野の進捗度(行政)	進捗度の理由
市民実感度	68.4	B	すべての指標が目標値を上回る結果となった。市民の実感度は両設間とも50点を上回っており、中でも、「安全で安心できる水道水を安定して供給している」については、77点と比較的高点数となった。市民の役割分担でも70点を超える結果となり、市民の節水や水の有効利用に対する意識は高いが、今後もより意識を高めていく努力が必要と考える。 行政の4年間の主な取り組みについては、当年度工事を見送った事業があったものの、各事業ごとに設定した目標水準を概ね達成している。 以上より、分野全体としては、それぞれ設定した取組目標を概ね達成でき、市民の取組意識も比較的高いことから、今後も引き続き的確な目標設定とその達成に向
指標	全ての指標が目標値を達成している		
市民の役割分担	73.0		
行政の4年間の主な取組	概ね計画通り順調に進捗している		

[進捗度の基準] A:4年後のまちが十分に実現されている B:4年後のまちが概ね実現されている C:4年後のまちがそこそこ実現されている D:4年後のまちはあまり実現されていない E:4年後のまちは全く実現されていない

6 総合計画審議会の意見

行政で検証した進捗度についての意見		前年度	B
行政で検証した進捗度を変更する場合の理由		進捗度(審議会)	

第5次生駒市総合計画 進行管理検証シート

351自然的資源

まちづくりの目標	3	環境にやさしく、自然と都市機能が調和した、住みやすいまち
施策の大綱	5	緑・水環境の保全と創出
基本施策	1	自然的資源
4年後のまち	①	豊かな自然環境に恵まれた生活が維持されている。
	②	市民・事業者・行政が協働して、周辺の山並みなど自然環境を後世に残していくための取組が進んでいる。

1 市民実感度

【市民満足度調査 平成27年6月実施】

設問① 豊かな自然環境に恵まれた生活が維持されている。					設問② 市民・事業者・行政が協働して、周辺の山並みなど自然環境を後世に残していくための取組が進んでいる。				
回答	件数	比率	得点評価		回答	件数	比率	得点評価	
そう思う	57	11.7%	12.6%	12.6	そう思う	46	9.2%	11.2%	11.2
どちらかというとそう思う	222	45.4%	48.9%	36.7	どちらかというとそう思う	145	28.9%	35.2%	26.4
どちらとも言えない	128	26.2%	28.2%	14.1	どちらとも言えない	152	30.3%	36.9%	18.4
どちらかというとそう思わない	32	6.5%	7.0%	1.8	どちらかというとそう思わない	37	7.4%	9.0%	2.2
そう思わない	15	3.1%	3.3%	0.0	そう思わない	32	6.4%	7.8%	0.0
わからない	23	4.7%			わからない	72	14.4%		
無回答	12	2.5%			無回答	17	3.4%		
総数	489	100.0%			総数	501	100.0%		
有効回答数	454		100.0%	65.1	有効回答数	412		100.0%	58.3
全設問の平均							61.7		

2 指標

No.	指標名	この指標について	指標の動向	目指す値	実績値
1	緑地の確保面積の割合(%) [上段]市全域 [下段]市街化区域	市全域及び市街化区域面積に対する緑地面積の割合。 公共施設緑地に加えて、緑の保全制度の創設等により、将来においても担保性のある緑地の確保を目指します。	<p>[上段]市全域 [下段]市街化区域</p>	H26	H26
担当課	みどり 景観 課		<p>目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由</p> <p><外的要因の有無: ■有 □無> 平成23年5月の都市計画区域の変更分がデータに反映されていないことが今回判明したことによる</p>	指標の把握方法(数値の出所)	都市公園等実態調査
2	緑の保全活動件数(件)	市民が主体となって緑の保全・再生活動をしている件数。 緑地等の保全・再生活動を支援し、花と緑と自然のまちづくりの推進を目指します。		H26	H26
担当課	みどり 景観 課		<p>目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由</p> <p><外的要因の有無: □有 □無></p>	指標の把握方法(数値の出所)	「緑の保全活動件数」及び「花と緑の活動件数」

第5次生駒市総合計画 進行管理検証シート

351 自然的資源

3 市民の役割分担（市民1人でできること）【市民満足度調査 平成27年6月実施】

①1	自然環境に対し関心、意識を持ち保全活動や清掃活動を行っている。			
回答	件数	比率	得点評価	
十分取り組んでいる	113	22.1%	23.5%	23.5
取り組んでいる	113	22.1%	23.5%	17.6
少し取り組んでいる	158	30.9%	32.8%	16.4
あまり取り組んでいない	58	11.3%	12.1%	3.0
全く取り組んでいない	39	7.6%	8.1%	0.0
無回答	31	6.1%		
総数	512	100.0%		
有効回答数	481		100.0%	60.6

4 行政の4年間の主な取組

取組No.	行政の4年間の主な取組	具体的な事業	取組状況	進捗上の課題（ある場合のみ）	担当課
①1	市民が身近に自然的資源にふれあえるよう、矢田丘陵遊歩道やハイキングコース、くろんどの森などのPRに努めます。	ハイキングマップの作成	市内を訪れる観光客及び市民が手軽に使用できる観光ガイドブックを作成（日本語、英語、中国語の三ヶ国語対応）		経済振興課
		観光協会ホームページでPR	観光協会と連携し、観光地やイベント、ハイキングコース等を観光協会のホームページで紹介。		経済振興課
①2	市内の自然環境や生態系に関する情報の提供を行います。	市内環境測定結果の公表	<ul style="list-style-type: none"> 環境白書「生駒市の環境」を作成・発行するとともに、ホームページに掲載し、大気、水質、騒音等の状況について周知を図った。 生駒に生息する動植物の調査結果をホームページ等で公表している。 		環境モデル都市推進課
②1	景観法の規定に基づく「景観行政団体」として、市民や事業者などとともに、緑豊かな自然環境と調和する景観の保全・創出を図ります。	景観まちづくり相談	毎月1回景観まちづくり相談を実施し、市民や事業者、設計者が景観アドバイザーから直接建物の意匠・色彩、外構の植樹などについて相談できる窓口を開催。 平成26年度 10回開催 14相談		みどり景観課
②2	市民や土地所有者等の理解を得られるような緑の保全制度を創設するとともに、自然体験型レクリエーションや環境学習の場としての活用に取り組みます。	市民の森事業	まちなかに残る緑の保全事業として民有の山林を一定期間借り上げ、森林整備のボランティアや近隣住民とともに市民の利用に供する事業を近隣住民とのWSを経て実施する。 市民の森事業として、1箇所選定したのでWSを開催し、結果を踏まえ整備工事を実施（平成27年3月）	事業地を選定するにあたり、樹林地の所有者と一定期間の契約を条件とするため、売買が自由にできないという制限等があり、所有者の協力なくしては成り立たない点と、また樹林地がまちなかにあり、利活用が図れ、アクセスの容易な場所等の立地条件も加わるため、事業地選定が難しい。	みどり景観課
②3	樹林保全活動を行う市民やボランティア等の育成に取り組みます。	花とみどりの楽校の実施	花や緑に対する市民の関心を高め、意識を向上させることを目的に、「花とみどりの楽校（がっこう）」の名前で「花と緑のボランティア講座」を平成21年度から実施。 平成26年度は地域で里山の保全・再生活動を実践するボランティアを養成することを目的に「里山づくり編」として全9回の連続講座を実施。	申し込み人数が減少傾向にあるため、講座内容及び募集のPRを再検討する必要があるとの判断から、平成27年度は、年間を通じての連続講座を1回完結型の講座に変更。また、講座内容を受講しやすい実習や体験に重点を置き、対象となる年齢層を広げることを目的とする。	みどり景観課
②4	市民・事業者・市民団体との協働による河川美化活動などの定着を図ります。	河川美化活動の促進	竜田川沿いの河川堤、川底及び河川管理道部分の美化清掃、竜田クリーンキャンペーンを実施し、河川愛護意識の高揚を図った。		環境モデル都市推進課
②5	里山の維持・再生や市街化区域内の樹林の保全・活用など、緑を保全するための仕組みづくりに取り組みます。	樹林地バンク制度	手入れ希望の樹林地（山林）所有者と樹林地の保全活動グループを仲介し良好な緑の保全を行う。 平成26年度の仲介件数は0件 平成23年度1ヶ所仲介 平成24年度1ヶ所仲介	手入れ希望の樹林地（山林）所有者の理解が必要であるため、より積極的な啓発が必要。	みどり景観課

第5次生駒市総合計画 進行管理検証シート

351 自然的資源

②6	里山林の保全、整備及び活用を図るため、里山整備活動を行うNPOなどの団体を支援します。	地域で育む里山づくり事業	奈良県森林環境税による里山づくり助成事業を利用し、里山林の保全、整備及び活用の促進を図るため、里山林整備を行う団体に対し、予算の範囲内において補助金を交付。 平成26年度 3団体		みどり 景観課
②7	環境教育を目的としたイベントなどを行う市民等を支援します。	環境教育イベント支援事業	夏休みの1日を森の中で過ごすことで自然環境を考えるきっかけづくりをすることを目的として、小・中学生を対象に市内ボランティア団体の協力のもとイベントを実施。 平成26年度 1回		みどり 景観課
②8	環境保全意識の高揚と環境教育を推進するため、ボランティアとの協働により自然環境調査を実施します。	自然環境調査の実施	市民・行政・事業者の協働の組織、環境基本計画推進会議「通称 ECO-netいこま」で川の指標となる水生生物調査、環境省の生態系観測(モニタリングサイト)に参加し里地の生物調査を実施した。		環境モ デル都 市推進 課

5 分野全体の進捗状況

各項目の進捗度		分野の進捗度 (行政)	進 捗 度 の 理 由
市民実感度	61.7	B	市民の実感度は61.7%、市民の役割分担は60.6%の評価を得ており、一定程度取り組みがなされている。 行政の4年間の主な取組については、各事業ごとに設定した目標水準を概ね達成し、水準を満たした事業の多くが予定目標を上回る結果となった。しかしながら、樹林地バンク制度は、事業に対する所有者の理解が必要となるため、取り組みは進めているものの、今後更に積極的な事業の啓発が必要となる 以上から、各々の進捗度を左のように判断した。分野全体としては、それぞれ設定した取組目標を概ね達成できており、4年後のまちが順調に実現されていると判断した。
指標	目標値を達成している 指標が多い		
市民の役割分担	60.6		
行政の4年間の主な取組	概ね計画通り順調に進 捗している		

[進捗度の基準] A:4年後のまちが十分に実現されている B:4年後のまちが概ね実現されている C:4年後のまちがそれぞれ実現されている
D:4年後のまちはあまり実現されていない E:4年後のまちは全く実現されていない

6 総合計画審議会の意見

行政で検証した進捗度 についての意見		前年度	B
行政で検証した進捗度 を変更する場合の理由		進捗度 (審議会)	

まちづくりの目標	3	環境にやさしく、自然と都市機能が調和した、住みやすいまち
施策の大綱	5	緑・水環境の保全と創出
基本施策	2	公園・緑化
4年後のまち	①	公園がレクリエーションや憩いの場として安心して利用されている。
	②	花と緑であふれるまちに向けて、着実に取組が進んでいる。

1 市民実感度

【市民満足度調査 平成27年6月実施】

設問① 公園がレクリエーションや憩いの場として安心して利用されている。				設問② 花と緑であふれるまちに向けて、着実に取組が進んでいる。			
回答	件数	比率	得点評価	回答	件数	比率	得点評価
そう思う	45	8.8%	10.1	そう思う	58	11.9%	12.9
どちらかというと思う	151	29.5%	25.4	どちらかというと思う	199	40.7%	33.2
どちらとも言えない	160	31.3%	17.9	どちらとも言えない	147	30.1%	16.4
どちらかというと思わない	53	10.4%	3.0	どちらかというと思わない	32	6.5%	1.8
そう思わない	37	7.2%	0.0	そう思わない	13	2.7%	0.0
わからない	43	8.4%		わからない	28	5.7%	
無回答	23	4.5%		無回答	12	2.5%	
総数	512	100.0%		総数	489	100.0%	
有効回答数	446		56.4	有効回答数	449		64.3
				全設問の平均			
				60.3			

2 指標

No.	指標名	この指標について	指標の動向	目指す値	実績値
1	バリアフリー化を行った公園件数[累計](箇所)	楽々アプローチ事業として、公園の出入り口の段差の解消やスロープ化、階段の手摺りの設置、車止めの改修等を行った件数。 幼児や高齢者、障がいを持った方が車椅子、ベビーカー等で誰もが安心して公園利用できるように計画的に整備を行います。		H26	H26
担当課	公園管理課			49	49
目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由			<外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>	指標の把握方法(数値の出所) 楽々アプローチ事業を行った実数	
2	花と緑の活動件数(件)	市民が主体となって花や緑に関する活動をしている件数。 市内の街区公園・近隣公園・地区公園等を市民の緑化活動の場として提供し、花と緑と自然のまちづくりの推進を目指します。		H26	H26
担当課	みどり景観課			316	321
目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由			<外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>	指標の把握方法(数値の出所) 「緑の保全活動件数」及び「花と緑の活動件数」	

3 市民の役割分担（市民1人でできること）【市民満足度調査 平成27年6月実施】

②1	庭先や窓辺に植栽などの緑化を行っている。			
回答	件数	比率	得点評価	
十分取り組んでいる	196	40.1%	41.3%	41.3
取り組んでいる	123	25.2%	25.9%	19.4
少し取り組んでいる	91	18.6%	19.2%	9.6
あまり取り組んでいない	37	7.6%	7.8%	1.9
全く取り組んでいない	28	5.7%	5.9%	0.0
無回答	14	2.9%		
総数	489	100.0%		
有効回答数	475		100.0%	72.2

4 行政の4年間の主な取組

取組No.	行政の4年間の主な取組	具体的な事業	取組状況	進捗上の課題（ある場合のみ）	担当課
①1	地域住民がルール・マナーを守った利用をし、自分たちで管理できるよう支援を行います。	自治会公園維持管理委託事業	市内街区公園は自治会と委託契約を締結し除草、清掃及び遊具の点検等を実施している。	各地区とも高齢化が進み、今後委託を解消希望する自治会が増加傾向にある。	公園管理課
①2	安心して公園を利用できるよう公園施設のバリアフリー化を計画的に行うとともに、遊具等の施設の点検を行うなど、適正な公園管理を実施します。	楽々アプローチ事業	幼児や高齢者、障がいを持った方が車椅子、ベビーカー等で誰もが安心して公園利用できるように、公園の出入り口の段差の解消やスロープ化、階段の手摺りの設置、車止めの改修等を年次計画に基づき実施している。	地形上段差の解消等が出来ない公園が存在する。	公園管理課
①3	住民と協働で地域のニーズに合った公園を再整備します。	コミュニティパーク事業	平成26年度は萩の台住宅地自治会にある萩の台第2公園を対象とし、4回のワークショップを通じて地域住民の皆さまの想いを引き出し、リニューアル計画を作成した。平成27年度には地域住民の皆さまとの作業ワークショップ、市発注の工事により整備を実施する。	地域住民の温度差を解消すること。完成後の公園を継続的に維持管理していくための体制作り。	公園管理課
①4	社会福祉法人及び企業と連携し、生駒山麓公園にレストラン、売店などを新設して活性化します。	山麓公園活性化事業	平成26年度の生駒山麓公園ふれあいセンターの改修工事により、平日にも賑わいのあるレストランに生まれ変わった。平成27年度には浴場等を含めた改修工事を実施する予定である。		公園管理課
②1	緑の大切さを啓発し、市民や事業者が緑の創出に取り組めるよう努めます。	緑化推進事業	広報紙に「自然の不思議発見」のコラムを掲載。 月1回 12ヶ月 花や緑に対する市民の関心を高め、意識を向上させることを目的に、「花とみどりの楽校(がっこう)」の名前で「花と緑のボランティア講座」を平成21年度から実施。 平成28年度開催予定		みどり 景観課
②2	緑の大切さを啓発し、市民や事業者が緑の創出に取り組めるよう努めます。	緑の市民懇話会、花好き・自然好き市民交流サロン	緑の保全及び創造する施策に対し、意見又は助言を求める。 緑の市民懇話会 平成26年度 3回開催 花好き・自然好き市民のネットワークをより一層拡げることが目的に平成18年に開設。 花好き・自然好き市民交流サロン 平成26年度 6回開催		みどり 景観課
②2	緑の大切さを啓発し、市民や事業者が緑の創出に取り組めるよう努めます。	「ふろーらむ」喫茶コーナー設置	新たな来場者を増やし、花と緑のまちづくりへのきっかけ作りができる「ふれあいスペース」として喫茶スペースを設ける。 ・喫茶スペースの整備完了 ・運営はボランティア主体で行う (平成27年3月)		みどり 景観課

第5次生駒市総合計画 進行管理検証シート

352公園・緑化

②3	「生駒市みどりの基金」をPRするとともに、寄附金を募ります。	生駒市みどりの基金	緑の保全及び創造する施策を実施するため、平成19年から施行。広報紙、ホームページ等に承諾いただいた方の氏名を掲載するとともに、イベント等での募金活動を実施。 平成26年度 587千円：個人1、団体4、その他募金		みどり 景観課
②4	市民などが「生垣助成制度」や「花と緑のわがまちづくり助成制度」を活用することにより、まちなかの緑の創出を図り、花と緑のまちづくりを推進します。	生垣助成制度、花と緑のわがまちづくり助成制度	生垣助成や花と緑のわがまちづくり助成を引き続き実施し、魅力的な都市環境を創造する。なお、花と緑のわがまちづくり助成制度は平成25年度の生駒市行政改革推進委員会の提言を踏まえ、支援のあり方を検討する。 平成26年度 生垣助成4件 花と緑のわがまちづくり助成101団体		みどり 景観課
②5	「花と緑の景観まちづくりコンテスト」で、多くの人々の目にふれる場所での緑化事例を顕彰します。	花と緑の景観まちづくりコンテスト	花と緑につつまれた美しいまちとなるよう、年間を通じての維持・管理の状況、デザイン性やまちなみとの調和、地域での取り組み方や取り組みの広がりなどを審査基準として、特に優秀な事例を選考し、表彰する。 平成26年度 24グループが応募		みどり 景観課
②6	開発等における緑化基準を適切に運用します。	開発行為指導	指導要綱等に係る緑化基準として、事業者が1区画の敷地面積が1,000㎡以上の開発行為等を行う場合、用途地区に応じて緑化を行うことで、事業者に緑化の効果・役割等の必要性も併せて理解してもらえるように指導する。 平成26年度 6件	基準にある数値をクリアするための植栽ではなく、植え方によって空間に奥行きが広がるなど与える印象が異なってくる点などを事業者との協議を何回も重ね、理解を得る必要がある。	みどり 景観課

5 分野全体の進捗状況

各項目の進捗度		分野の進捗度 (行政)	進捗度の理由
市民実感度	60.3	B	全ての指標が目標値を達成し、市民の実感度はどの設問も50点を上回っていることから一定程度取り組まれている。行政の4年間の主な取り組みについては、進捗上の課題があるものの、全体として概ね計画通り順調に進捗しており、進捗度をBと判断した。一部の自治会からは公園維持管理委託の解消を望む声も聞こえるが、反対に新たに公園維持管理委託を締結して頂ける自治会もあり、自分たちの手で自分たちの公園を維持管理しようという意識が感じられる。特に、コミュニティパーク事業を実施した自治会で住民の取組意識が高まっている様子が感じられる。楽々アプローチ事業も年次計画に基づき順調に進んでおり、4年後のまちはおおむね実現していると判断した。
指標	全ての指標が目標値を達成している		
市民の役割分担	72.2		
行政の4年間の主な取組	概ね計画通り順調に進捗している		

【進捗度の基準】 A:4年後のまちは十分に実現されている B:4年後のまちは概ね実現されている C:4年後のまちはそこそこ実現されている D:4年後のまちはあまり実現されていない E:4年後のまちは全く実現されていない

6 総合計画審議会の意見

行政で検証した進捗度についての意見		前年度	B
行政で検証した進捗度を変更する場合の理由		進捗度 (審議会)	

第5次生駒市総合計画 進行管理検証シート

511学研都市

まちづくりの目標	5	地域の資源と知恵を活かし、にぎわいと活力あふれるまち
施策の大綱	1	学研都市との連携
基本施策	1	学研都市
4年後のまち	①	学研都市に立地している奈良先端科学技術大学院大学や民間企業との地域交流が盛んに行われている。

1 市民実感度

【市民満足度調査 平成27年6月実施】

設問①	学研都市に立地している奈良先端科学技術大学院大学や民間企業との地域交流が盛んに行われている。			
回答	件数	比率	得点評価	
そう思う	21	4.2%	6.1	6.1
どちらかというと思う	111	22.2%	32.0	24.0
どちらとも言えない	136	27.1%	39.2	19.6
どちらかというと思わない	45	9.0%	13.0	3.2
そう思わない	34	6.8%	9.8	0.0
わからない	136	27.1%		
無回答	18	3.6%		
総数	501	100.0%		
有効回答数	347	100.0%		52.9
全設問の平均				52.9

2 指標

No.	指標名	この指標について	指標の動向	
1	高山サイエンスタウンフェスティバルの来場者数(人)	毎年開催している「高山サイエンスタウンフェスティバル(サイエンスプラザ)」への来場者数。 来場者の増加により、学研都市高山地区に立地する施設への関心が高まることで、施設と地域との交流促進を目指します。		
担当課	都市計画課		目指す値	実績値
			H26	H26
			4,600	4,650
			指標の把握方法(数値の出所)	
			(公財)関西文化学術研究都市推進機構	
		目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>	

3 市民の役割分担(市民1人でできること)

【市民満足度調査 平成27年6月実施】

①1	奈良先端科学技術大学院大学などの学研都市関係機関が開催するセミナーなど、イベントに参加・協力している。			
回答	件数	比率	得点評価	
十分取り組んでいる	8	1.6%	1.7	1.7
取り組んでいる	26	5.2%	5.5	4.1
少し取り組んでいる	63	12.6%	13.4	6.7
あまり取り組んでいない	106	21.2%	22.5	5.6
全く取り組んでいない	268	53.5%	56.9	0.0
無回答	30	6.0%		
総数	501	100.0%		
有効回答数	471	100.0%		18.2

4 行政の4年間の主な取組

取組No.	行政の4年間の主な取組	具体的な事業	取組状況	進捗上の課題（ある場合のみ）	担当課
①1	奈良先端科学技術大学院大学と連携して行っている学校教育事業等の継続・充実を図ります。	奈良先端科学技術大学院大学の研究者による特別授業	H26より中学校2校が先端大で特別授業を受けている。他の6校は先端大の教員や院生が学校に行き、出前授業を実施している。	先端大での特別授業は、授業を行う部屋の広さの関係で、小規模校に限られる。	教育指導課
①2	奈良先端科学技術大学院大学などの学研都市関係機関が開催するセミナーなどイベントを周知・支援します。	各種イベント等の広報への掲載	広報によりイベントの紹介等を行っている。		都市計画課
①2	奈良先端科学技術大学院大学などの学研都市関係機関が開催するセミナーなどイベントを周知・支援します。	各種イベント等の後援	学研関連施設が実施する各種イベント等を広く市民に知らせるとともに、連携事業により、地域への交流の促進を図った。		都市計画課
①3	奈良先端科学技術大学院大学などの学研都市関係機関と連携し、地域交流の機会を設けます。	市施設における展示の実施	「科学に関する絵画展」における市内小学生の入賞・入選作品を市役所ロビーに展示した。		都市計画課
①4	学研都市の建設推進に向けて、公益財団法人関西文化学術研究都市推進機構との連携の強化を図ります。	公益財団法人関西文化学術研究都市推進機構が実施する調査等への協力	生駒市における学研都市における人口の調査報告・企業立地等の報告を行っている。		都市計画課
①5	リニア中央新幹線新駅の誘致活動などを行い、関西文化学術研究都市の発展を推進します。	リニア中央新幹線新駅(中間駅)誘致事業	平成25年度にリニアシンポジウムを開催し、同年度から高山サイエンスフェスティバルにおいてリニアのPR活動を行うとともに、リニア誘致サポーターを募集している。		都市計画課

5 分野全体の進捗状況

各項目の進捗度		分野の進捗度(行政)	進捗度の理由
市民実感度	52.9	C	指標は目標値を達成している。 市民実感度は52点台であるが、市民の役割分担は20点を下回っており、市民の取り組み意識を高めていく必要がある。 行政の4年間の主な取組については、各項目とも概ね目標を超えている。 以上より、分野の進捗度を左のように判断した。
指標	全ての指標が目標値を達成している		
市民の役割分担	18.2		
行政の4年間の主な取組	概ね計画通り順調に進捗している		

[進捗度の基準] A:4年後のまちが十分に実現されている B:4年後のまちが概ね実現されている C:4年後のまちがそこそこ実現されている
D:4年後のまちはあまり実現されていない E:4年後のまちは全く実現されていない

6 総合計画審議会の意見

行政で検証した進捗度についての意見	前年度	D
行政で検証した進捗度を変更する場合の理由	進捗度(審議会)	

第5次生駒市総合計画 進行管理検証シート

521農業

まちづくりの目標	5	地域の資源と知恵を活かし、にぎわいと活力あふれるまち
施策の大綱	2	農業の振興
基本施策	1	農業
4年後のまち	①	市民全体により遊休農地の解消が進められ、新規就農者への支援及び農業基盤の整備が進んでいる。
	②	地産地消と人に優しい農業を推進し、市民と育む農のあるまちづくりが進んでいる。

1 市民実感度

【市民満足度調査 平成27年6月実施】

設問① 市民全体により遊休農地の解消が進められ、新規就農者への支援及び農業基盤の整備が進んでいる。				設問② 地産地消と人に優しい農業を推進し、市民と育む農のあるまちづくりが進んでいる。			
回答	件数	比率	得点評価	回答	件数	比率	得点評価
そう思う	18	3.5%	5.5 5.5	そう思う	19	3.9%	4.6 4.6
どちらかというとそう思う	52	10.2%	16.0% 12.0	どちらかというとそう思う	123	25.2%	29.7% 22.3
どちらとも言えない	144	28.1%	44.2% 22.1	どちらとも言えない	190	38.9%	45.9% 22.9
どちらかというとそう思わない	72	14.1%	22.1% 5.5	どちらかというとそう思わない	46	9.4%	11.1% 2.8
そう思わない	40	7.8%	12.3% 0.0	そう思わない	36	7.4%	8.7% 0.0
わからない	167	32.6%		わからない	62	12.7%	
無回答	19	3.7%		無回答	13	2.7%	
総数	512	100.0%		総数	489	100.0%	
有効回答数	326		100.0% 45.1	有効回答数	414		100.0% 52.6
				全設問の平均			
				48.8			

2 指標

No.	指標名	この指標について	指標の動向	目指す値	実績値																					
1	遊休農地活用事業面積(アール)	遊休農地活用事業で利用されている農地の面積。遊休農地の解消を図るため、農家以外の方の協力を得ながら、耕作面積の拡大を目指します。	<table border="1"> <tr><th>年度</th><td>H21</td><td>H22</td><td>H23</td><td>H24</td><td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td></tr> <tr><th>面積(アール)</th><td>125</td><td>227</td><td>265</td><td>291</td><td>350</td><td>456</td><td>370</td><td>390</td><td>410</td><td>430</td></tr> </table>	年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	面積(アール)	125	227	265	291	350	456	370	390	410	430	目指す値	実績値
年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29																	
面積(アール)	125	227	265	291	350	456	370	390	410	430																
				H26	H26																					
				370	456																					
				指標の把握方法(数値の出所)																						
				申請による実績値																						
		目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無: □有 □無>																							
2	青年新規就農者数[累計](人)	農地の有効活用を図り、地産地消を進めるため、農家の担い手としての青年の新規就農者の数。未来の農家の担い手の青年の発掘と定着を進めます。	<table border="1"> <tr><th>年度</th><td>H21</td><td>H22</td><td>H23</td><td>H24</td><td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td></tr> <tr><th>人数</th><td>0</td><td>0</td><td>2</td><td>2</td><td>3</td><td>7</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td></tr> </table>	年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	人数	0	0	2	2	3	7	4	5	6	7	目指す値	実績値
年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29																	
人数	0	0	2	2	3	7	4	5	6	7																
				H26	H26																					
				4	7																					
				指標の把握方法(数値の出所)																						
				農地法3条の許可																						
		目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無: □有 □無>																							
3	遊休農地の面積(アール)	現在耕作されておらず、今後も耕作される見込みのない農地の面積。遊休農地が減少しているのは主に農地の転用など社会的要因によります。遊休農地の減少は、生活環境の面で社会的に寄与するため、その減少を把握します。	<table border="1"> <tr><th>年度</th><td>H21</td><td>H22</td><td>H23</td><td>H24</td><td>H25</td><td>H26</td><td>H27</td><td>H28</td><td>H29</td></tr> <tr><th>面積(アール)</th><td>10,955</td><td>10,384</td><td>10,670</td><td>10,015</td><td>9,142</td><td>9,100</td><td>8,900</td><td>8,700</td><td>8,500</td></tr> </table>	年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	面積(アール)	10,955	10,384	10,670	10,015	9,142	9,100	8,900	8,700	8,500	目指す値	実績値	
年度	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29																	
面積(アール)	10,955	10,384	10,670	10,015	9,142	9,100	8,900	8,700	8,500																	
				H26	H26																					
				9,100	9,100																					
				指標の把握方法(数値の出所)																						
				水稻生産実施計画書																						
		目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無: □有 □無>																							

第5次生駒市総合計画 進行管理検証シート

3 市民の役割分担（市民1人でできること）【市民満足度調査 平成27年6月実施】

②1 地場農産物に関心を持ち、購入している。				
回答	件数	比率	得点評価	
十分取り組んでいる	86	16.8%	17.7%	17.7
取り組んでいる	139	27.1%	28.5%	21.4
少し取り組んでいる	141	27.5%	29.0%	14.5
あまり取り組んでいない	65	12.7%	13.3%	3.3
全く取り組んでいない	56	10.9%	11.5%	0.0
無回答	25	4.9%		
総数	512	100.0%		
有効回答数	487		100.0%	56.9

4 行政の4年間の主な取組

取組No.	行政の4年間の主な取組	具体的な事業	取組状況	進捗上の課題（ある場合のみ）	担当課
①1	遊休農地の解消を図るため、市民の野菜づくりや、季節感を生かす地域活動を推進していくための相談や支援を行います。	遊休農地活用事業	新規就農者3名が就農し、遊休農地約1.2haを新規就農者に紹介した。農地法の改正により行った利用意向調査の結果に基づき、売却や貸し出し希望の農地を把握し、同じく整備された全国農地ナビにより台帳を整理し、本市の農地情報を公開することで、希望者に貸し出しを行っている。		経済振興課
①2	遊休農地活用事業の利用者に対して、遊休農地利用開始時に草刈り、耕耘等の支援を実施します。	遊休農地活用事業	遊休農地活用事業新規利用者に対して、利用当初1回に限り、草刈及び耕耘に要する経費の支援を行っている。農業委員会では、担い手等の活用が見込まれる市内耕作放棄地を対象に簡易な再生作業（草刈り・耕耘）を担い手・農地サポートセンターに依頼を行っている。		経済振興課
①3	新規就農者を支援するため、農地の斡旋、農地情報の提供、営農相談、設備投資支援等を行います。	新規就農者支援事業	就農希望者と面談し、場所・面積等の希望を聞いて、農地を探し、見つかった場合、現地案内、所有者とのマッチングを行っている。		経済振興課
①4	農業基盤の整備や農地の保全等を図るため、ため池や農道、水路等の農業用施設の改修支援、有害鳥獣被害対策に努めます。	土地改良事業	地元施行による土地改良工事についての改修支援及び施工材料の支給支援の実施。		経済振興課
		有害鳥獣捕獲事業	狩猟免許取得者を増やし、増加しているイノシシ被害対策のため、捕獲数の拡大をめざす。7名のわな取得費用を補助した。新規に檻を21基増やしたが、目標としていたイノシシの捕獲数100頭には届かず、捕獲が67頭にとどまった。	合計37基設置したが捕獲できなかった。このことから、箱わなでの捕獲から囲いわなへの実証へと移行し、一基設置した。	経済振興課
②1	地産地消を推進するため、市民や事業者が生産、販売、購入、消費できる機会の拡大を図ります。	地場野菜販売支援	いちご部会及び野菜販売組合を組織し、おちやせんで販売を実施。		経済振興課
		青空市場の開催	ベルテラスでは毎月第3日曜日に農業振興協議会による野菜販売を実施している。		経済振興課
②2	地産地消を推進するため、黒大豆や学校給食用食材の生産拡大、自主的運営農業者団体づくり、地域農産物の加工品化等を図ります。	黒大豆の生産拡大	戦略作物として位置付けしている黒大豆の生産拡大を目指すため、面積助成及び価格助成の実施を行っている。		経済振興課
		学校給食事業	地産地消を推進するため、地元の野菜（玉ねぎ、大根）の生産拡大を目指すため、面積助成及び価格助成の実施を行っている。		経済振興課
②3	有機栽培の啓発、減農薬の推進、エコファーマーの登録推進を図ります。	有機、減農薬推進事業	農業祭において、有機栽培の啓発ブースの設置、窓口でのチラシやパンフレットにて「環境にやさしい農業」の啓発を実施している。		経済振興課
②4	有機農業がもたらす循環・共生・多様性が環境を改善していく重要な役割であることを啓発します。	有機、減農薬推進事業	平成26年度、市内農業団体において有機農業の推進に取り組む先進地視察研修を行い、環境に負荷をかけない技術等の向上に取り組む。		経済振興課
②5	自然と親しむ人づくりのため、農業体験の実施や農業者と都市住民との交流を図ります。	親子ふれあい農業体験事業	高山町と小井町の2ヶ所で実施。親子30組の応募があり、田植え、稲刈り、餅つき、しめ縄作り、発表会等実施した。参加者からのアンケートからも、子どもの情操教育に大いに寄与できた。		経済振興課

5 分野全体の進捗状況

各項目の進捗度		分野の進捗度 (行政)	進捗度の理由
市民実感度	48.8	B	指標については、目標値を達成している指標が多いなか、市民実感度においては、2つの設問の平均が50点を切る結果となっており、状況の改善及び市民の取組意識を高めていく必要がある。市民の役割分担は50点を上回っており、一定程度取り組まれている。行政の4年間の主な取組については、各事業ごとに設定した目標水準を概ね達成していることから、各々の進捗度を左のように判断し、4年後のまちは概ね実現されていると判断した。
指標	全ての指標が目標値を達成している		
市民の役割分担	56.9		
行政の4年間の主な取組	概ね計画通り順調に進捗している		

[進捗度の基準] A:4年後のまちは十分に実現されている B:4年後のまちは概ね実現されている C:4年後のまちはそこそこ実現されている
D:4年後のまちはあまり実現されていない E:4年後のまちは全く実現されていない

6 総合計画審議会の意見

行政で検証した進捗度 についての意見		前年度	B
行政で検証した進捗度 を変更する場合の理由		進捗度 (審議会)	

第5次生駒市総合計画 進行管理検証シート

531企業立地

まちづくりの目標	5	地域の資源と知恵を活かし、にぎわいと活力あふれるまち
施策の大綱	3	商業・工業の振興
基本施策	1	企業立地
4年後のまち	①	自然環境と調和した良好な工業団地が形成され、職住近接の住みやすいまちになっている。
	②	工業団地内の立地環境の整備にあわせ、企業立地が進んでいる。

1 市民実感度

【市民満足度調査 平成27年6月実施】

設問① 自然環境と調和した良好な工業団地が形成され、職住近接の住みやすいまちになっている。					設問② 工業団地内の立地環境の整備にあわせ、企業立地が進んでいる。				
回答	件数	比率	得点評価		回答	件数	比率	得点評価	
そう思う	15	3.0%	4.1%	4.1	そう思う	13	2.5%	4.0%	4.0
どちらかというと思う	69	13.8%	19.1%	14.3	どちらかというと思う	26	5.1%	8.0%	6.0
どちらとも言えない	169	33.7%	46.7%	23.3	どちらとも言えない	149	29.1%	46.0%	23.0
どちらかというと思わない	63	12.6%	17.4%	4.4	どちらかというと思わない	83	16.2%	25.6%	6.4
そう思わない	46	9.2%	12.7%	0.0	そう思わない	53	10.4%	16.4%	0.0
わからない	118	23.6%			わからない	165	32.2%		
無回答	21	4.2%			無回答	23	4.5%		
総数	501	100.0%			総数	512	100.0%		
有効回答数	362		100.0%	46.1	有効回答数	324		100.0%	39.4
全設問の平均								42.8	

2 指標

No.	指標名	この指標について	指標の動向			
1	補助制度活用事業所における市内新規常用雇用者数 [累計] (人)	本市の企業立地施策により立地した企業において、市民を新規に雇用した人数。 この数値が増えることにより、職住近接の実現を図ります。				
			<table border="1"> <tr><th>目指す値</th><th>実績値</th></tr> <tr><td>H26</td><td>H26</td></tr> <tr><td>24</td><td>41</td></tr> </table>	目指す値	実績値	H26
目指す値	実績値					
H26	H26					
24	41					
担当課	経済振興課	目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>			
2	生駒市企業立地補助金制度による認定事業所数 [累計] (事業所)	企業誘致施策の成果を表す指標である企業立地促進条例に基づく認定事業所数。 年間2件の対象事業所を目指します。				
			<table border="1"> <tr><th>目指す値</th><th>実績値</th></tr> <tr><td>H26</td><td>H26</td></tr> <tr><td>10</td><td>11</td></tr> </table>	目指す値	実績値	H26
目指す値	実績値					
H26	H26					
10	11					
担当課	経済振興課	目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由	<外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>			

第5次生駒市総合計画 進行管理検証シート

531企業立地

3 市民の役割分担（市民1人でできること）【市民満足度調査 平成27年6月実施】

②1	企業立地に対して理解を深めている。			
回答	件数	比率	得点評価	
十分取り組んでいる	21	4.3%	4.5%	4.5
取り組んでいる	40	8.2%	8.5%	6.4
少し取り組んでいる	130	26.6%	27.7%	13.9
あまり取り組んでいない	136	27.8%	29.0%	7.2
全く取り組んでいない	142	29.0%	30.3%	0.0
無回答	20	4.1%		
総数	489	100.0%		
有効回答数	469		100.0%	32.0

4 行政の4年間の主な取組

取組No.	行政の4年間の主な取組	具体的な事業	取組状況	進捗上の課題（ある場合のみ）	担当課
①1	生駒市地域職業相談室についての情報の提供・周知を図ります。	ふるさとハローワークの相談事業について広報等で周知	奈良労働局が実施する生駒市ふるさとハローワークについての情報提供と周知を図る。		経済振興課
①2	市内企業との連携により、市内の就職情報を提供できる環境の整備を行います。	ふるさとハローワークにおける求人情報の提供や職業相談の実施	奈良労働局が実施する生駒市ふるさとハローワークにおいて、求人情報の提供及び就職相談等を実施。		経済振興課
②1	企業誘致に関する各施策についての情報を積極的に提供します。	ホームページ等での情報掲載	市のホームページ及びパンフレットにより、立地区域、優遇制度、企業誘致施策立案プロジェクトの提言内容等の情報を掲載。		経済振興課
②2	既存補助制度の運用や制度の拡充など、立地企業への支援を推進します。	企業誘致支援事業	企業誘致に関する諸施策についての情報を、様々な機会を捉え、積極的に提供する。また、企業立地促進補助制度の運用、ビジネスフェア等参加によるPRなどにより、新たな立地企業の誘致を推進する。 企業立地アンケートに基づく誘致活動のうち、電話でのヒアリングが5軒、訪問でのヒアリングが8軒。		経済振興課
②3	国や県とも連携しつつ、北田原工業団地を中心に、企業立地に必要な道路など公共施設の整備を進めます。	企業誘致関連道路整備事業	北田原南北線整備事業 ・工事出来高率：69% 北田原中学校線整備事業 ・用地取得に関連する部分の事業用地管理工事を実施した。 道路整備を計画している箇所の整備済み延長の割合：29.0% (平成27年3月)	・国の交付金の配分が少なく財源不足となり、事業の進捗に支障をきたしている。	土木課
②4	周辺環境に配慮した企業立地を進めます。	環境保全協定の締結の促進	生駒市企業立地促進補助金の事業計画の申請時若しくは、事業計画認定時に、事業者に対して、環境保全協定を結ぶよう指導している。		経済振興課
			企業立地促進条例の補助対象事業認定には、環境保全協定締結が条件のため、企業の周辺環境に配慮した環境保全計画書に基づき、環境保全協定の締結に務めた。 締結件数 1件(平成27年3月)		環境モデル都市推進課
②5	交通アクセスの高さや豊かな自然環境を背景に、就労者の生活や居住環境に恵まれた立地条件であることをPRしながら、企業や教育施設、研究施設の誘致に取り組めます。	ホームページ等による周辺環境や優遇・補助金制度のPR	市のホームページ及びパンフレットにより、立地区域、優遇制度、企業誘致施策立案プロジェクトの提言内容等の情報を掲載		経済振興課
②6	基盤整備の進捗と新たな立地企業の動向により、周辺地域との景観、環境に留意した、工業適地の確保に取り組みます。	工業適地の確保	工場立地法に基づき立地企業に対して適切な指導を行う。		経済振興課
			高山第1工区に生駒市高山学研地区地区計画が導入され、周辺の山並み、緑と調和するよう配慮した施設整備になるよう推進する。		都市計画課
②7	時代の転換を見据えた企業誘致の取組について調査、研究を進めます。	新たな企業誘致施策の検討	宅建協会と協定書を結び、工場の立地を考えている企業に迅速に情報提供できる体制を整える。	実際に、北田原工業団地に企業が立地できる用地が少なく、紹介できる物件が少ない。	経済振興課

5 分野全体の進捗状況

各項目の進捗度		分野の進捗度 (行政)	進 捗 度 の 理 由
市民実感度	42.8	B	市民の実感度や市民の役割分担は50%を下回っているため、状況の改善および市内のより積極的なPRを行っていく必要がある。 しかしながら、行政の4年間の主な取り組みについては、各事業ごとに設定した水準を概ね達成している。 また、2件を目標にしていた補助金制度による認定事業所数の指標についても、3件を達成し、その他の指標についても目標を上回っている。 以上より、各進捗状況を左のように判断し、「4年後のまちが概ね実現されている」と判断した。
指標	全ての指標が目標値を達成している		
市民の役割分担	32.0		
行政の4年間の主な取組	概ね計画通り順調に進捗している		

[進捗度の基準] A:4年後のまちが十分に実現されている B:4年後のまちが概ね実現されている C:4年後のまちがそこそこ実現されている
D:4年後のまちはあまり実現されていない E:4年後のまちは全く実現されていない

6 総合計画審議会の意見

行政で検証した進捗度 についての意見		前年度	C
行政で検証した進捗度 を変更する場合の理由		進捗度 (審議会)	

第5次生駒市総合計画 進行管理検証シート

532商工業

まちづくりの目標	5	地域の資源と知恵を活かし、にぎわいと活力あふれるまち
施策の大綱	3	商業・工業の振興
基本施策	2	商工業
4年後のまち	①	魅力ある商業機能が整い、市内での消費が拡大されている。
	②	商工業者の経営が安定し、市内での企業活動が一層活発になっている。

1 市民実感度

【市民満足度調査 平成27年6月実施】

設問① 魅力ある商業機能が整い、市内での消費が拡大されている。					設問② 商工業者の経営が安定し、市内での企業活動が一層活発になっている。					
回答	件数	比率	得点評価		回答	件数	比率	得点評価		
そう思う	17	3.5%	4.0%	4.0	そう思う	11	2.2%	3.1%	3.1	
どちらかというとそう思う	79	16.2%	18.6%	13.9	どちらかというとそう思う	43	8.6%	12.2%	9.1	
どちらとも言えない	167	34.2%	39.3%	19.6	どちらとも言えない	168	33.5%	47.6%	23.8	
どちらかというとそう思わない	115	23.5%	27.1%	6.8	どちらかというとそう思わない	72	14.4%	20.4%	5.1	
そう思わない	47	9.6%	11.1%	0.0	そう思わない	59	11.8%	16.7%	0.0	
わからない	51	10.4%			わからない	127	25.3%			
無回答	13	2.7%			無回答	21	4.2%			
総数	489	100.0%			総数	501	100.0%			
有効回答数	425		100.0%	44.4	有効回答数	353		100.0%	41.1	
					全設問の平均					42.8

2 指標

No.	指標名	この指標について	指標の動向									
1	商工業振興イベント数(件)	商工業振興イベントの開催件数。商業の活性化を示す指標であり、商工業を振興するための効果的なイベントを実施し、地域の活性化を図ります。		<table border="1"> <tr><th>目指す値</th><th>実績値</th></tr> <tr><td>H26</td><td>H26</td></tr> <tr><td>9</td><td>13</td></tr> </table>	目指す値	実績値	H26	H26	9	13		
				目指す値	実績値							
H26	H26											
9	13											
担当課 経済振興課	指標の把握方法(数値の出所) イベント実施件数											
目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由 <外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>												
2	起業支援融資・セミナー件数(件)	生駒市起業支援融資制度にかかる融資の件数。また、起業支援に関するセミナーの開催件数。本市の商工業の活性化の指標であり、起業を支援することで商工業の振興、地域経済の活性化、市民の満足度の増進、市財政の健全化を目指します。		<table border="1"> <tr><th>目指す値</th><th>実績値</th></tr> <tr><td>H26</td><td>H26</td></tr> <tr><td>融資 2</td><td>融資 2</td></tr> <tr><td>セミナー 2</td><td>セミナー 3</td></tr> </table>	目指す値	実績値	H26	H26	融資 2	融資 2	セミナー 2	セミナー 3
				目指す値	実績値							
H26	H26											
融資 2	融資 2											
セミナー 2	セミナー 3											
担当課 経済振興課	指標の把握方法(数値の出所) セミナー実施件数											
目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由 <外的要因の有無: <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無>												

3 市民の役割分担（市民1人でできること）【市民満足度調査 平成27年6月実施】

①1	できる限り市内で商品を購入するようにしている。			
回答	件数	比率	得点評価	
十分取り組んでいる	99	19.8%	20.8%	20.8
取り組んでいる	148	29.5%	31.1%	23.3
少し取り組んでいる	129	25.7%	27.1%	13.6
あまり取り組んでいない	67	13.4%	14.1%	3.5
全く取り組んでいない	33	6.6%	6.9%	0.0
無回答	25	5.0%		
総数	501	100.0%		
有効回答数	476		100.0%	61.2

4 行政の4年間の主な取組

取組No.	行政の4年間の主な取組	具体的な事業	取組状況	進捗上の課題（ある場合のみ）	担当課
①1	商店街の活性化やにぎわいづくりに向けた取組を支援します。	中小企業振興事業	商工会議所、商店街などが行う100円商店街、いまこいバルなどのイベントを通じて市内消費の活性化を図る。 イベントを13件行った。 (いまこいバル、中小企業総合展、ベルテラスオープニング、女性起業家セミナーなど)		経済振興課
		観光協会、アンテナショップなど関係団体との連携	eco2まつり等の開催や商工業関連展示会への積極的な参加を通じ、本市の商工観光の振興を図る。 イベントを13件行った。 (いまこいバル、中小企業総合展、ベルテラスオープニング、女性起業家セミナーなど)		経済振興課
①2	地場産業である竹製品の普及・啓発や後継者育成を図るための取組を支援します。	伝統的工芸品育成補助金	奈良県高山茶釜協同組合の竹製品の普及・啓発や後継者育成を図る事業に対して補助金を交付した。		経済振興課
		特産品振興補助金	奈良県高山茶釜協同組合、奈良県茶道具同業組合、奈良県編針工業協同組合の3組合の行う事業に対して補助金を交付した。(高山竹林園に3組合の協同看板を設置)		経済振興課
①3	高山竹林園を拠点とし、イベントやホームページ、リーフレットなど様々な機会、媒体を通じて、高山茶釜をはじめとする本市の地場産業の周知に努めます。	お茶会と竹あかりの夕べの開催	高山竹あかりを開催し、昨年より550人増の2,450人の参加があり、地域振興を図ることができた。		経済振興課
②1	市内の工業製品などを紹介する取組を行います。	企業立地ホームページでのPR	市内の工業製品などをホームページ等で紹介		経済振興課
②1	市内の工業製品などを紹介する取組を行います。	ビジネスフェアへの出展・参加	市内の商工業製品の紹介を行った。		経済振興課
②2	中小企業等の経営の安定化を支援するため、各種資金融資制度の活用促進や、生駒商工会議所など関係機関と連携した取組を行います。	中小企業融資	生駒市中小企業融資制度の中に、新しく創業支援融資を創設し、新規事業者に対する融資を実施した。		経済振興課
②2	中小企業等の経営の安定化を支援するため、各種資金融資制度の活用促進や、生駒商工会議所など関係機関と連携した取組を行います。	中小企業融資制度利子補給金	中小企業者支援として、中小企業融資制度の申込者に対して、利子補給金、債務保証料補給金の交付を行い、また、内容に応じて適切な関係機関を紹介を行った。		経済振興課
②3	商工業振興の主体的な組織である生駒商工会議所の活動に対する支援を行います。	商工会議所補助金	商工業振興の主体的な組織である生駒商工会議所の活動に助成を実施。		経済振興課
②4	商工会議所など関係機関と連携し、商業活性化のための協議の機会を設けます。	中心市街地活性化協議会と連携	中心市街地活性化協議会に毎回参加し、情報の共有を行った。		経済振興課
②5	北田原工業地区へのアクセス道路の整備を推進します。	企業誘致関連道路整備事業	地域幹線道路等への連絡道路の整備、渋滞緩和施策の実施。 北田原南北線整備事業 1工区(新設区間) L=445m、幅員=12m ・工事出来高率69%	・国の交付金の配分が少なく財源不足となり、事業の進捗に支障をきたしている。	土木課
②6	生駒市の地域活性化を図るため起業支援を行います。	起業支援融資	起業支援融資件数2件を行った。		経済振興課
②6	生駒市の地域活性化を図るため起業支援を行います。	起業家セミナーの開催	女性優先起業家セミナーを3回行った。		経済振興課

5 分野全体の進捗状況

各項目の進捗度		分野の進捗度 (行政)	進捗度の理由
市民実感度	42.8	B	<p>全ての指標が目標値を達成し、行政の4年間の主な取り組みについても、各事業ごとに設定した水準を概ね達成している。</p> <p>市民の実感度については、50%を下回っており、より一層の市内商工業者への支援及び市内での消費を拡大を図る必要がある。しかしながら、市民の役割分担「できる限り市内で商品を購入するようにしている」という指標は60%を越え、市内消費に関して市民の関心は高く、企業活動が活発化すれば、市内で消費を喚起しやすい環境にあるといえる。</p> <p>以上より、各進捗状況を左のように判断し、「4年後のまちが概ね実現されている」と判断した。</p>
指標	全ての指標が目標値を達成している		
市民の役割分担	61.2		
行政の4年間の主な取組	概ね計画通り順調に進捗している		

[進捗度の基準] A:4年後のまちが十分に実現されている B:4年後のまちが概ね実現されている C:4年後のまちがそれぞれ実現されている
D:4年後のまちはあまり実現されていない E:4年後のまちは全く実現されていない

6 総合計画審議会の意見

行政で検証した進捗度 についての意見		前年度	C
行政で検証した進捗度 を変更する場合の理由		進捗度 (審議会)	

まちづくりの目標	5	地域の資源と知恵を活かし、にぎわいと活力あふれるまち
施策の大綱	4	観光と多様な交流の促進
基本施策	1	観光・交流
4年後のまち	①	本市の地域資源を活かした取組が進められ、観光地など本市へ来訪者が訪れている。
	②	本市の新しい特産品やお土産等の開発・PRを進めるなど、訪れた観光客や市民の満足度が高まる取組が行われている。

1 市民実感度

【市民満足度調査 平成27年6月実施】

設問① 本市の地域資源を活かした取組が進められ、観光地など本市へ来訪者が訪れている。					設問② 本市の新しい特産品やお土産等の開発・PRを進めるなど、訪れた観光客や市民の満足度が高まる取組が行われている。					
回答	件数	比率	得点評価		回答	件数	比率	得点評価		
そう思う	12	2.3%	3.3%	3.3	そう思う	16	3.3%	3.8%	3.8	
どちらかというと思う	37	7.2%	10.2%	7.6	どちらかというと思う	77	15.7%	18.5%	13.9	
どちらとも言えない	124	24.2%	34.1%	17.0	どちらとも言えない	179	36.6%	43.0%	21.5	
どちらかというと思わない	106	20.7%	29.1%	7.3	どちらかというと思わない	99	20.2%	23.8%	5.9	
そう思わない	85	16.6%	23.4%	0.0	そう思わない	45	9.2%	10.8%	0.0	
わからない	130	25.4%			わからない	57	11.7%			
無回答	18	3.5%			無回答	16	3.3%			
総数	512	100.0%			総数	489	100.0%			
有効回答数	364		100.0%	35.2	有効回答数	416		100.0%	45.2	
						全設問の平均			40.2	

2 指標

No.	指標名	この指標について	指標の動向							
1	観光イベントの件数(件)	生駒市及び生駒市観光協会などが主催して行ったイベントの件数。観光客誘客のためにイベントを主催及び協力して観光客の増加を目指します。								
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>目指す値</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>H26</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table>	目指す値	実績値	H26	H26	9	9	
目指す値	実績値									
H26	H26									
9	9									
担当課	経済振興課	指標の把握方法(数値の出所)	課内で作成したイベント予定票参照							
目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由			<外的要因の有無: □有 □無>							
2	1. 観光ボランティアガイドの案内件数(件) 2. 観光ボランティアガイドが案内した人数(人)	生駒市を訪れる観光客を観光ボランティアガイドが案内した件数及び人数で、生駒市を訪れたいニーズと機会の指標です。生駒市を訪れる機会の指標である件数と人数の増加を目指します。								
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>目指す値</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>H26</td> </tr> <tr> <td>90</td> <td>249</td> </tr> </tbody> </table>	目指す値	実績値	H26	H26	90	249	
目指す値	実績値									
H26	H26									
90	249									
担当課	経済振興課	指標の把握方法(数値の出所)	観光ボランティアガイドの会の総会資料							
目標が未達成かつ前年度より悪化している場合の理由			<外的要因の有無: □有 □無>							
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>目指す値</th> <th>実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>H26</td> </tr> <tr> <td>1,200</td> <td>1,287</td> </tr> </tbody> </table>		目指す値	実績値	H26	H26	1,200	1,287
目指す値	実績値									
H26	H26									
1,200	1,287									
			指標の把握方法(数値の出所)							
			観光ボランティアガイドの会の総会資料							

3 市民の役割分担（市民1人でできること） 【市民満足度調査 平成27年6月実施】

①3	友人・知人に生駒の魅力(観光地など)を伝えている。			
回答	件数	比率	得点評価	
十分取り組んでいる	45	8.8%	9.2%	9.2
取り組んでいる	76	14.8%	15.6%	11.7
少し取り組んでいる	154	30.1%	31.6%	15.8
あまり取り組んでいない	134	26.2%	27.5%	6.9
全く取り組んでいない	79	15.4%	16.2%	0.0
無回答	24	4.7%		
総数	512	100.0%		
有効回答数	488		100.0%	43.5

4 行政の4年間の主な取組

取組No.	行政の4年間の主な取組	具体的な事業	取組状況	進捗上の課題（ある場合のみ）	担当課
①1	観光協会など関係団体と連携しながら、ホームページや観光ポスター、リーフレットなど様々な媒体を通じて、身近に楽しめる観光や地域資源としての魅力のPRに努めます。	ホームページ等による観光PR	観光PRイベントへの参加18件 観光ボランティアガイドの案内件数249件、1,287人		経済振興課
①2	観光振興の核となる生駒市観光協会の活動に対する支援を行います。	観光協会補助金	生駒市観光協会の運営および活動に対する補助金の交付		経済振興課
①3	竹あかりのタベや周辺自治体などと連携したイベント等を通じて、本市の魅力の発信と多様な交流の促進を図ります。	お茶会と竹あかりのタベ	地場産業の発展と観光振興を図るためイベントを開催する。また、地元が実施する啓発事業についても協力を行う。 高山竹あかりを開催し、昨年より550人増の2,450人の参加があり、地域振興を図ることができた。 お茶会については、昨年より11人増の38人参加があり、観光振興を図ることができた。		経済振興課
①4	地域資源を活かしながら、観光ニーズの変化に対応した新たな取組の研究を進めます。	新たな観光ニーズに関する研究	自転車を利用した観光を促進するサイン設置を行うため、自治会と設置場所等を協議し、3ルートのサイン設置を実施した。サイン整備4.6km		経済振興課
②1	観光ボランティアのPRを行います。	観光ボランティアの育成	生駒市観光協会が養成した観光ボランティアガイドの支援、PRを行う。		経済振興課
②2	訪れる観光客や市民の満足度を高めるため、高山竹林園やハイキングコース、公衆トイレなどの施設の充実、維持管理に努めます。	観光施設維持管理	市内を訪れる観光客及び市民が快適に使用できるよう、市内各ハイキングコースの清掃、公衆便所の清掃業務について委託する。		経済振興課
②3	産学官の連携推進による観光振興に努めます。	産学官連携推進事業	商工会議所、帝塚山大学、観光協会及び生駒市の4者が連携し、各々の特徴を活かして、市内の商工観光の活性化を図る。		経済振興課

5 分野全体の進捗状況

各項目の進捗度		分野の進捗度(行政)	進捗度の理由
市民実感度	40.2	B	全ての指標が目標値を達成しているものの、市民の実感度や市民の役割分担は50%を下回っているため、状況の改善および市内外へのより積極的なPRを行っていく必要がある。 行政の4年間の主な取り組みについては、観光客のニーズを把握するため、今年度から大人だけでなく子供も楽しめるガイドを企画するなど、さまざまなニーズに対応した企画ガイドを実施した。その結果各事業ごとに設定した水準を達成した。今後も、観光客を市内に呼び込むために継続した取り組みが必要である。 以上より、各進捗状況を左のように判断し、「4年後のまちが概ね実現されている」と判断した。
指標	全ての指標が目標値を達成している		
市民の役割分担	43.5		
行政の4年間の主な取組	概ね計画通り順調に進捗している		

【進捗度の基準】 A:4年後のまちが十分に実現されている B:4年後のまちが概ね実現されている C:4年後のまちがそこそこ実現されている D:4年後のまちはあまり実現されていない E:4年後のまちは全く実現されていない

6 総合計画審議会の意見

行政で検証した進捗度 についての意見		前年度	B
行政で検証した進捗度 を変更する場合の理由		進捗度 (審議会)	